

# 2学年だより 「二歩」 9月号

平成30年9月3日発行

日	曜	行事等	学年より
1	土		<p>【気づけば往路が終わっています】</p> <p>「箱根駅伝」1月2日、3日に開催されるこの駅伝大会を知らない人はいないでしょう。東京都の大手町から神奈川県芦ノ湖までの約100キロの道のりを往復するだけのというシンプルなこの競技が毎年高視聴率を獲得していることに疑問を感じながら、私も毎年欠かさず見てしまうものです。</p> <p>さて、この箱根駅伝でこれまでの高校生活をたとえると、入学期の号砲でスタートを切った1区、初々しい華の2区の1年1学期、エース区間として高校生として活躍する1年2学期の3区、地味に大事な4区は1年3学期、そして勝負をかける山登りは2年1学期、芦ノ湖で優勝インタビューを受けた夏休みを終えてここから復路へというところでしょうか。（少し強引ですかね？）</p> <p>ここで、青山学院や東洋大学が近年連続で上位に名を連ねるようになった理由を考えると、山の神の存在はもちろんです、私は復路でも勝負できる戦力を整えていることにあると思っています。往路の失敗は2区のモグスやダニエルといった留学生や5区の山登りで挽回可能ですが、復路のブレーキは修正するチャンスはありません。だからこそ、爆発的な力を披露する以上に確実に力を発揮することが出来る選手を復路に配置できるこの2校が、安定して成績を残しているのだと思います。</p> <p>もう一度話を高校生活に戻すと、これからの生活は復路にあたります。相手の背中は見えないし、ゴールははるか遠くに感じているでしょう。でももう往路の到着順で再スタートが始まっています。ここからの失速は挽回が難しいとか考えると怖くなるかも知れませんが、大事なのは前に進むことです。大手町でガッツポーズしている自分を想像してみよう!!</p> <p style="text-align: right;">（2年2組担任：吉井一真）</p>
2	日		
3	月	ミニ文化祭準備のための45分授業（～5）	
4	火		
5	水		
6	木	ミニ文化祭	
7	金		
8	土		
9	日		
10	月	教育相談週間〈短縮45分〉～14	
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日	就職試験開始（3年生）	
17	月	敬老の日	
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		
22	土	体験入学〈火の授業〉	
23	日	秋分の日	
24	月	振替休日	
25	火	体験入学振替休日	
26	水	〈短縮45分〉 生徒会役員選挙立会演説会・投票	
27	木		
28	金	遠足	
29	土		
30	日		

## 【学年トピックス】台風のように毎週やってくる行事をどう楽しむか!?

6日(木)ミニ文化祭、22日(土)体験入学、26日(水)生徒会役員選挙、28日(金)遠足、そして10月には修学旅行、部活動では新人戦もこの時期に行われることでしょう。さて皆さん、これらの行事を楽しむ準備は出来ていますか?時間は皆平等で、何もしなくても時は過ぎていきます。しかし、過ぎた時間は取り戻すことは出来ません。只見高校2年生として迎える最初で最後の行事です。全力で楽しむためのいい準備をしましょう。台風の季節が過ぎると冬はもうすぐそこですよ。



## 【進路関係】それぞれの進路にあわせて

### 大学希望者へ

・模試の結果が返ってきましたね!!  
うれしい結果だった人はいないはずですよ。これまでの取り組みを反省して次の模試までの計画を立てよう。人と同じ努力量では足りませんよ。頑張るのは今です!!

### 就職希望者へ

・左の予定表を見てください。  
先輩方の就職試験がいよいよスタートします。先輩方の姿を見て、来年自分がどんな準備をすれば良いのか考えておきましょう。備えあれば憂いなし。頑張るのは今です!!

### 専門希望者へ

・夏休みにオープンキャンパスに行ってきた人が多くいるようですね。その調子でいろんな選択肢から選ぶ準備をしておこう。就職の人同様に先輩方の動きのチェックも大切ですね。頑張るのは今です!!

## 【不定期寄稿】学生時代を振り返る

今月の執筆者



坂山 大樹先生  
(2学年・数学)

2年生のこの時期を振り返ってみると、この時は自分の志望校に向けて少しずつ勉強していました。物理の授業のとき、先生から「国公立大学を目指すなら、この夏から勉強しないと他の受験生においていかれる。」ということを知りました。これを聞いて、学校で出された宿題や、本屋で買った問題集を家に帰ってから毎日やっていました。当時私はとりあえず国公立大学に行きたいという思いから、毎日継続的に勉強しました。このように漠然とした目標ではありますが、皆さんは卒業した後の目標は持っていますか?目標を持っている人は、その目標に向かって今何をすべきかを考えて行動に移すようにしましょう。まだ目標を持っていない人は、将来何になりたいのかをそろそろ考えて、考え出した将来像に向かって動き出せるようにしましょう。

